第26回

障害のある子どもの教育を語り合う全国学習交流集会 in 山口

（旧 全国障害児学級＆学校学習交流集会）



開催要綱

昨年度の千葉集会から名称を変更した「障害のある子どもの教育を語り合う全国学習交流集会」。今年度は、山口で開催します。今年度も、通常学級の先生方と一緒に、より幅広く障害のある子どもたちの教育全体をとらえ学ぶ場を広げるために、様々な立場の先生が参加しやすい集会になるように準備しています。

山口集会では、今年度、全教障教部が作成した「インクルーシブ教育提言」について学び、通常学級での障害のある子のおかれた現状をあらためておさえるとともに、「発達を保障する教育を受ける権利」と「地域で学ぶ権利」の両方が保障されるインクルーシブ教育をめざすには、どうすればよいかを考える講座を行います。記念講演はクレスコ連載が大好評の別府哲先生をお迎えします。その他にも、多彩な講座や分科会を設定しました。様々な学びの場の教職員・保護者のねがいや悩みをもち寄り、障害のある子の教育について学び合いましょう。みなさん、誘い合ってご参加ください。

今年度の集会テーマ

学んで、語って、つながれたら幸せます！
～子どもから出発する学校をつくるために～

期　　日	2027年1月9日（土）～10日（日）
場　　所	1月　9日（土）全体会　KDDI 維新ホール（山口市小郡令和１丁目１－１） 全体交流会　山口グランドホテル（山口市小郡黄金町１丁目1-1） 1月10日（日）KDDI 維新ホール（山口市小郡令和１丁目１－１） 山口グランドホテル（山口市小郡黄金町１丁目1-1）
開催方法	会場での直接参加（10日午後のみ一部オンライン併用）
参 加 費	2日参加：３０００円　　1日参加：２０００円　　オンライン参加者：１０００円 保護者・学生：５００円（１日・両日いずれも） 全体交流会：８０００円

		12：00～	13：00～16：40	17：30～
9日 （土）		受　付	全体会	全体交流会
	9：30～11：30		12：30～16：30	
10日 （日）	てんこ盛り講座 文化バザール 特設企画		旬の実践分科会 基礎講座(15：00まで)	

企画・運営　：　全教障害児教育部　・　現地実行委員会
主　催　：　全日本教職員組合（全教）・教組共闘連絡会
お問い合わせ：　TEL　03-5211-0123　　FAX　03-5211-0124
協力団体　：　（公財）日本教育公務員弘済会　山口支部

全体会（1/9）13:00～16:40

◇13:00～　オープニング

○ダンス＆パフォーマンス〔スウィートポップコーン〕

山口市、宇部市を中心に活動している知的障がい児・者パフォーマンスグループ、スウィートポップコーンのダンス＆パフォーマンスをお楽しみください

○山口の障害児教育運動のあゆみ

1987 年、「山口県・障害児の後期中等教育を進める会」が発足しました。この会は、保護者と教職員が共に声を上げた高等部開設を求める運動から始まり、今では名称を「山口県障がい児の教育を進める会」と変更し、今も続いています。会の歩みを振り返ることで、障害児教育の向かうべき方向を考えます。

○山口県の観光名所の紹介

三方向を海に囲まれた山口県。東から西まで多くの観光名所や美味しい一品、お土産を紹介します。

◇13:50～14:40　全教あいさつ・実行委員長あいさつ・特別報告「どうなる次期学習指導要領」・基調報告

◇14:55～16:25　記念講演　別府　哲さん　（岐阜大学名誉教授・中部学院大学）

「どの子も発達のねがいをもっている」 ～子どもの生きづらさに寄り添う実践を今～

◇16:25～16:40　次年度に向けて・諸連絡

全体交流会（1/9）17:30～　　会場：山口グランドホテル

全国からの参加者が一堂に会し、全体会の感想を話したり仲間と交流を深めたりできる「全体交流会」。今年も美味しい食事や飲み物を囲んで、日々の実践、仕事の悩みややりがいなど、仲間と語り合いませんか？たくさんのご参加お待ちしています。

てんこ盛り講座（1/10）9:30～11:30

	講　座　名	講　　師
1	みんなで学べば楽しいよ～学級づくりと教科の教材～	井上　美子さん（元特別支援学級教員）
2	「今だからこそ！プレイフル♡ラーニング」 ～ブロック＆タイルで永遠に広がる算数の世界～	坂根　真実子さん（広島） 倉澤　明子さん　（広島）
3	子ども同士のヨコのつながり ～特別支援学級の楽しい学習・活動と集団づくり～	藤木　桂子さん（大阪）
4	重度の子どもへの教育実践	木澤　愛子さん（滋賀）
5	「働かせる」から「働く」へ ～主体的に活動する力を育む指導や支援の在り方～	天野　剛さん　（山口）
6	ふれあいと科学を大切にした包括的性教育	岡野　さえ子さん（元特別支援学校教員）
7	通常学級で発達障害など配慮の必要な子どもも含めた学級集団づくり・授業づくりと発達の保障	宮本　郷子さん（立命館大学）
8	自閉スペクトラム症とトラウマ、不登校問題を考える	楠　凡之さん（北九州市立大学名誉教授）
9	障害児教育で大切にしたいこと ～障害児教育入門講座＆今さら聞けないお悩み相談カフェ～	佐竹　葉子さん（元特別支援学校教員）

特設企画＆文化バザール（1/10）9:30～11:30

インクルーシブ教育講座　シリーズ①	第１部　講師：村田　信子さん（全教障害児教育部） 第２部　コーディネーター：越野　和之さん（奈良教育大学）・シンポジスト（３名）
＜第１部＞　全教障害児教育部の「インクルーシブ教育提言」を学ぼう！いかそう！ ＜第２部＞　どうする？どうなる？小・中学校、高校の通常学級・通級指導のインクルーシブ教育(仮)	
子ども達の笑顔あふれるマジック講座♪	講師：佐藤　比呂二さん（都留文科大学）

旬の実践分科会（1/10）12:30～16:30 （※のみオンライン併用）

旬の実践分科会	共同研究者
1，障害児学級での教育実践	山下　洋児さん（東京）
櫻井　修斗（大　阪）子どもの表現を大事にする授業作り 金坂　美穂（東　京）この子たちと何をしよう？　～試行錯誤の授業づくり～	
2，発達障害児の教育実践	宮本　郷子さん（立命館大学） 越野　和之さん（奈良教育大学）
芦原　真実（東　京）「ここでだったらできるんだ」から「ここがあるからできるんだ」へ 北河　栄里（滋　賀）「子どもの『しんどさ』から考える」	
3，視覚障害児の教育実践　【※オンライン併用】	寺田　健太郎さん（埼玉）
多田　美記（滋　賀）幼稚部お話し遊びの取り組み 堀　真由美（埼　玉）特別支援学校の図書館は大変？　～盲学校図書室、日々のかかわりから見えたこと～	
4，聴覚障害児の教育実践	竹沢　清さん（元ろう学校教員）
保木　あかね（滋　賀）子どもたちにとってのろう学校　～高等部生の17年の育ちとことばの力～ 岩田　美和　（和歌山）刺激MAXの言語活動	
5，病弱の子どもたちの教育実践	栗山　宣夫さん（育英短期大学）
安井　紀貴　（愛　知）安心できる教師とともに葛藤を乗り越えて～りっちゃんとの出会いから～ 星野　麻衣子（山　梨）新しい一歩を支えるために　～ありのままを受け止め、共に歩んだ実践から～	
6，発達の遅れと授業づくり・教育課程づくり ア）1歳半未満の発達段階の子どもたち	河合　隆平さん（都立大学）
宗岡　若奈　（山　梨）いっくんが心の杖を手放すとき 和田　健太朗（広　島）持つことが大切　～初めての肢体不自由教育～	
7，発達の遅れと授業づくり・教育課程づくり イ）ことば獲得期・教科指導・教科入門期の発達段階の子どもたち	櫻井　宏明さん（全国障害者問題研究会）
本田　理沙（愛　媛）いっしょに「好き」をさがしてみよう 本前　久音（北海道）絵本作家になろう	
8，自閉症・自閉的傾向の子どもたちの授業づくり・教育課程づくり	三木　裕和さん（元立命館大学）
竹本　沙也伽（山　口）こわがり優ちゃんの一歩 辻村　文緒　（京　都）子どもたちに見えている世界　～自立活動の授業を通して～	
9，青年期の課題と授業づくり･教育課程づくり	白石　恵理子さん（滋賀大学名誉教授）
中筋　達也（奈　良）節目に寄り添う～社会自立に向かうこどもたち～ 寺田　裕香（滋　賀）「自分をもっと好きになれるように」を目指して　～みんなで取り組む職業での和紙作り～	
10，性教育の実践	伊藤　修毅さん（日本福祉大学）
古井　洋　（愛　知）体・命の教育は、日常の学校生活の中で 立川　都　（東　京）性教育、アレコレやってみた！　～子どもの発言が自然と多くなる不思議な授業～	
11，子どもに寄り添う寄宿舎教育　【※オンライン併用】	能勢　ゆかりさん（奈良教育大）
田中　彩子（山　口）舎生と過ごす日々より 坂上　哲雄（東　京）島しょ生Y君　入舎奮闘記	
12，保護者との共同･教育条件整備　【※オンライン併用】	児嶋　芳郎さん（立正大学）
土橋　知幸（奈　良）重い知的障害のある子どもの“移行期”に必要な学校生活のあり方 深津　冬惟（埼　玉）子どもたちにおいしい給食を取り戻そう！ ～給食調理の民間委託業者不落問題で立ち上がった保護者と教職員たち～	

基礎講座（1/10）　12:30～15:00

出会いはタカラモノ　～子どもから教えられたことばかり～	佐藤　比呂二さん（都留文科大学）
『問題』『困った』と思える子どもたちの行動に戸惑い悩むことはありませんか？でもその行動には子どもたち自身の「こうありたい」というホントのねがいがあります。そんなねがいをどう受け止め、理解し日々の実践につなげていくか、佐藤先生のお話を聞きながら共に学びましょう。	

参加のお申し込みについて　【締め切り】12月16日

1、参加申込みについて　↓参加される方は全員、下記ＵＲＬまたは二次元コードからお申込みください。

https://forms.gle/RJN6y5p89YMqqPig8

申し込み

① **申込みフォームに入り、必要な項目を入力します。**

② **申込み後、①のメールアドレスに「forms-receipts-noreply@google.com」から受付確認メールが届きます。受付確認メールが届かない場合は、「迷惑メールフォルダー」を確認するか、迷惑メール設定でこのアドレスを外すか、受信できるまで試みてください。**

※受付確認メールが届かない場合は、必ず下記 4 の全教まで問い合わせてください。受付確認メールが届かない方は、そのあとの集会連絡メール等も届かない可能性があります。

※講座や分科会で手話通訳や点訳レポート等を希望される方は、申込みフォームの「合理的配慮希望欄」に必ずお書きください。**（手話通訳の申込みは、11 月末日までにお願いします。）**

③ **参加者全員に「集会連絡メール」を 12 月 23 日までに syoukyou_bu@educas.jp より送ります。**
12 月 23 日までに「集会連絡メール」が届かない方は下記までご連絡ください。

2、キャンセルについて　オンライン参加、現地参加ともに、都合が悪くなっても、連絡は必要ありません。

ただし全体交流会に申し込まれた方で欠席に変更する方は、１月４日までに下記４に必ず連絡してください。

キャンセル連絡のない場合は、全体交流会費 8000 円を後日お支払いいただく場合があります。

3、オンライン参加費の支払いについて

①お近くの現地参加する方へ、参加費（1000 円）を預けてください。

② ①が不可能な場合は下記へご連絡ください。集会後に所定の口座に振込みをお願いします。(手数料自己負担)

4、お問い合わせ　（全国実行委員会・全日本教職員組合障害児教育部）

■ １月７日までの連絡先　　ＴＥＬ（０３）５２１１－０１２３　　ＦＡＸ（０３）５２１１－０１２４

メール　syoukyou_bu@educas.jp　　担当：村田、峯田、田中

■ １月８日～10 日の連絡先　**全教携帯【　080-7930-3200　】**まで

保育のお申し込みについて　【締め切り】12月16日

〇保育の申込みは、集会申し込みとは別に右下の二次元コードまたは URL からご入力ください。

「保育のご案内」　https://forms.gle/4tt9ajnqeaLzgqLR8

保育体制の都合で、障害のあるお子さんと小学生以上のお子さんの保育は受けられません。ご了承ください。
（小学生以上のお子さんは保護者とご一緒に集会に参加してかまいません。）

＊1 月 9 日(土) ①または②をお選びください。

①保育士による保育。

・「保育」時間：12：30～16：40。会場：維新ホールの 2 階会議室。保険料 1 人 1 日 500 円。

・持ち物などの詳細は右下の二次元コードに入るとご案内がありますのでご確認ください。

② 維新ホールの大ホールにある「親子観覧ブース(ガラス張り小部屋)」の使用。

・先着 6 世帯まで（1 部屋 3 世帯。2 部屋あります)。無料。ソファーとベビーベットあり。小学生も利用可。

・定員になり次第受付を終了します。それ以降は①のみとなります。

＊1 月 10 日(日)保育士による保育

・「保育」時間：9：00～16：40。会場：維新ホールの 2 階会議室。保険料 1 人 1 日 500 円。

・昼食は保護者ととっていただきます。

・持ち物などの詳細は右記の二次元コードに入るとご案内がありますのでご確認ください。

保育申込

※本集会は教育公務員弘済会の助成をうけて開催しています。